

社会環境の変化への対応

1 基本的な方針

日本製紙グループは、総合バイオマス企業として、社会環境やお客さまのニーズの変化への確に対応するとともに、持続可能な社会の構築に寄与する製品・サービスを提供することで、企業の社会的価値と経済的価値の向上を図り、企業グループ理念の実現を目指します。

2 持続可能な社会の構築に貢献する製品

- 当社グループは、再生可能な木質資源を多様な技術・ノウハウを最大活用して展開する製品・サービスの提供を通じて、持続可能な社会の構築やSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献していきます。
- グループ各社において、原材料の調達、製品の製造、使用、使用後、廃棄など、製品のライフサイクルの各段階で環境に配慮した製品の開発を進めています。

事例

ストローレス対応学校給食用紙パック「School POP®」(日本製紙)

紙パックから直接飲めるよう、開けやすさや衛生面に工夫した設計とした上で、ストローを必要とする方にも配慮しストロー穴は残す構造としました。使い捨てストローの削減によるCO₂排出量削減を通じて気候変動問題の解決に貢献します。2025年4月時点で、24都道府県での採用が決定しています。

事例

「長持ちロール」シリーズ(日本製紙クレシア)

「スコッティ®フラワーパック3倍長持ち4ロール(シリーズ)」は、1ロールの長さが従来品※の3倍のため、取り替えの手間が少なく、収納スペースが削減できます。また、ロールのコア芯の削減や、配送時の積載率の向上によるCO₂削減等、環境負荷の低減にも貢献できます。

※ スコッティ®フラワーパック12ロール(シリーズ)

セレンピア®(日本製紙)

セルロースナノファイバー「セレンピア®」シリーズは、セルロースをナノレベルまで解繊する技術を活用したバイオマス素材です。植物繊維由来のため生産・廃棄に関する環境負荷が小さく、軽量・高強度・高酸素バリア性・熱安定性など多様な機能を持っています。食品や化粧品への採用が拡大しているほか、2023年には世界初※の事例となる、輸送機器の量産部品への採用も実現しました。

※ 当社調べ

元気森森®(日本製紙)

パルプ化技術を活用し、原料となる木材からリグニンを取り除き、消化性の良いセンイ(セルロース)を取り出して製造する、新しい養牛用飼料です。高エネルギー・消化が穏やかという特長があり、国内調達の木材を使用し、国内工場で製造することで、品質と供給の安定が可能です。木質資源を有効活用した製品で畜産の持続可能な発展に貢献します。

3 お客さまの課題への対応

当社グループでは、営業部門による日常の営業活動から、技術スタッフによる品質パトロールまで、幅広くお客さまの課題やニーズを把握し対応できるよう積極的にコミュニケーションを図っています。

主な取り組み

社名	方法	詳細
日本製紙グループ	ウェブサイトでのお問い合わせ受け付け	事業・製品・活動などについて日本語・英語2つの言語で受け付け
日本製紙グループ	工場見学・査察受け入れ	地域の学生や住民などの工場見学、認証機関などの工場監査の受け入れ
日本製紙	顧客への技術講習会の開催	乳業・飲料会社の充填機ご担当者を対象に、技術講習会(紙パックスクール)を開催
日本製紙クレシア	お客さま相談室の設置	お寄せいただくご意見・ご質問を、製品のさらなる開発・改善に活かせるように体制を整備

4 ESG情報共有プラットフォームへの参加

当社グループは、サプライチェーンにおける企業の環境的・社会的慣行に関する情報を共有し、その改善を目指している国際的なプラットフォームにサプライヤーとして参加しています。

プラットフォームへの参加状況・評価

社名(拠点)	プラットフォーム名	参加年	評価・監査
日本製紙	EcoVadis	2016年	2024年はブロンズメダルを取得
日本製紙リキッドパッケージプロダクト(江川事業所)	Sedex	2019年	CSR評価を審査する「SMETA監査」を実施



→WEB

持続可能な社会の構築に貢献する製品

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/sdgs-product/>